

行動科学・実装科学セミナー

令和4年第3回実装科学セミナー

演者： 国立長寿医療研究センター

認知症先進医療開発センター予防科学研究部

主任研究員 黒田 佑次郎 先生

演題：被災地域での保健活動
～エビデンスをつくり、伝え、使う重なり～

日時 2022年7月8日(金) 16:00～17:00

開催方法 Web会議システム (Zoomミーティング)

参加申込 <https://forms.office.com/r/rE1iaSACfV>

参加申込メ切 2022年7月8日(金) 17:00
(セミナー終了まで)



講師プロフィール：

State University of New Yorkで心理学を専攻。東大大学院在学中に福島県の被災自治体に派遣、必要性から疫学・公衆衛生を学ぶ。飯舘村健康福祉アドバイザー、内閣府原子力対策本部住民支援アドバイザー、環境省生活関連の放射線に関する疑問への助言作成委員会副主査等を歴任。

セミナー要旨：

全村避難を余儀なくされた飯舘村において、村民と村役場とともに、生活環境を回復するための取組を行いました。本セミナーでは、環境省で作成した「暮らしの手引き」を題材に、科学的な知見を住民の生活に文脈化すること、実装科学で必要となるステークホルダーの関与について考えます。

主催：国立がん研究センターがん対策研究所 支持・サバイバーシップ研究グループ
N-EQUITY (健康格差是正のための実装科学ナショナルセンターコンソーシアム)

共催：RADISH (D&I科学研究会)、J-SUPPORT (日本がん支持療法研究グループ)
早稲田大学人間科学学術院

問い合わせ：国立がん研究センター がん対策研究所 行動科学研究部
実装科学研究室 島津・齋藤 impsci-sem@ml.res.ncc.go.jp